

## 1 目指す学校像

帝塚山学院が設立にあたり提唱した「力の教育」を実現し、意志の力、情の力、知の力、躯幹の力といった、広い意味の力の漲った強い人物を育成する。

1. 活力ある人間の育成
2. 創造性豊かな人間の育成
3. 協調性ある人間の育成
4. 国際感覚豊かな人間の育成 を目標とする。

## 2 中期的目標

### 1 教育力の強化

#### (1) 進路指導

- ① 生徒一人ひとりの進路実現
- ② 現役国公立大学合格者数の増加

#### (2) 学習指導

- ① 英語検定試験対策の実施
- ② AL型授業の導入
- ③ ICT機器の導入

#### (3) 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣の確立、安心安全な学校生活の充実を図る。
- ② 清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止
- ③ いじめの防止、携帯電話の使用方法について
- ④ 交通安全指導の強化
- ⑤ 生徒指導の強化

#### (4) 特別活動

- ① 自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実
- ② キャリア教育の充実と大学見学の実施

### 2 組織力の強化

### 3 財務基盤力の強化

#### (1) 入学生の確保

#### (2) キャンパスの整備

【自己評価アンケートの結果と分析・学校運営協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校運営協議会委員からの意見
<p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「入学者を確保するための十分な募集広報活動を、組織的に行っている」・・・95.5%(昨年度より2.5%増)</li> <li>・「年間を通じた教育計画(シラバス)を各教科別に立てて実践している」・・・94.1%(昨年度より5.1%増)</li> <li>・「学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている」・・・92.6%(昨年度より8.6%増)</li> <li>・「教育課程は学習指導要領に沿っている」・・・91.2%(昨年度より0.8%減)</li> <li>・「保護者へ授業を公開している」・・・88.2%(昨年度より5.2%増)</li> <li>・「同窓会、後援会とのネットワークを確立し、学校運営で必要に応じた支援をあおいでいる」・・・75%(昨年度より5%減)</li> </ul> <p>上記4項目は肯定率が90%以上の高い評価を得ている。特にホームページは入試対策部を中心に更新を頻繁に行い、新しい情報を発信するように努めている。コロナ禍で実施できていなかった授業参観は11月のみ開催し、肯定率は90%に迫る評価であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況のご報告は、とても充実した内容でいずれを取っても必要なものと感じました。</li> <li>・先生方の事業進捗報告を聞きながら、各担当の先生方は熱心に取り組まれておられると思いました。</li> <li>・生徒のアンケートの中身に関して、Wi-Fiの繋がりが悪い？とありましたがそこが気になりました。</li> <li>・先生方の学校や生徒への思いの強さを感じました。伝統を引き継ぎつつ、そこに甘んじることなく進化を遂げる泉ヶ丘の未来がとても楽しみです。</li> <li>・大学進学に関しては、子どもたちの躍進につながるようなデータ分析や今後の方針に明るい未来を感じました。</li> </ul> <p>一方、上位の生徒だけではなく、生徒全体の底上げになるようなお話もお伺いしたいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からのアンケートによって、先生と生徒との距離感が把握できるのはよいですね。先生との関係性も子どもたちの学校生活において、とても大切だと思います。</li> </ul>
<p>【教育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる」・・・92.7%(昨年度より9.7%増)</li> <li>「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」・・・85.3%(昨年度より7.3%増)</li> <li>「部活動は活発に行われている」・・・82.3%(昨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響で、行事を開催するか否かの選択はとても困難だと感じます。千差万別の価値観の中で、臨機応変に対応していただいで感謝しております。</li> <li>・敢えてということで申し上げます。社会でたくましく生きる力をつけるための改革。進学実</li> </ul>

年度より 9.3%増)

「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」・・・77.9%(昨年度より 2.1%減)

「海外留学制度が有効に実施されている」・・・72.1%(昨年度より 5.9%減)

「スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている」・・・67.6%(昨年度より 4.4%減)

「体育祭、文化祭などの学校行事は活発である」・・・63.3%(昨年度より 2.3%増)

早朝読書の実施と図書館からの広報により、図書館の利用が進んでいる。また、生徒会活動を活発化させるため、中高の生徒会が月に1回専門委員会を実施している。海外留学は、コロナ禍のため留学を行うことができず、昨年度から 5.9%減という結果となった。制度はあるが、留学を実施できていない。ただ、2022年度7月よりオーストラリア語学研修を再開する予定である。また、中学3年生対象に Zoom を利用した講演会を実施した。アフリカのマラウイと Zoom でつなぎ、青年海外協力隊員として活躍されている方の講演、実際に現地の方々との触れ合うこともできた。

【生徒指導】

「登下校に際し、生徒指導は円滑におこなわれている」・・・95.6%(昨年度より 2.6%増)

「ICT を利用して授業を行っている」・・・92.6%(昨年度より 15.6%増)

「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」・・・92.6%(昨年度より 4.6%増)

「不登校の生徒に対するケア体制が整っている

績にばかりやっきになる学校が多い中、視線を高みに置いていると感じました。キャリア教育、グローバルな視点等。教育改革は、PDCAのP(プラン)ばかりになりがちで注意が必要。そこで敢えての提案として、今年度の重点項目を思い切って減らし、量から質への転換をされてはどうでしょうか。働き方改革の視点もあります。公立校では、働きすぎの現状もあり、教員が疲弊しては、教育改革は進まない。そういう意味でも、項目に優先順位をつけてみてはどうでしょうか。

・学校の8割は授業であり、授業改善が重要。今、ロイノート用いて、ICT活用を進めている自治体もある。リモートの良さもある。対面式の良さとのハイブリッドで何ができるのかを追求してみたいと思います。

・基礎的な知識以外はあるという間に陳腐化する時代である。「Did you know」という動画があるので、一度見てほしい。情報技術の進化は加速的。こういう時代に、学校で子どもたちに教えた知識は社会に出てから役に立つのか。そういうことも考えないといけない。卒業生の力を借りても良いのではないかな。

・動きの速い世の中で、社会に出て役に立つ人材の育成をめざしてほしい。今の感覚で教育していて通用するのだろうか。また、普遍的なところ、ひととして必要な能力というものもある。リモートに代表される新しい能力と、ベースになる普遍的な能力。二つの視点で、やるべきことがもう少し整理できるのではないかなと思いました。

・教員の業務負担に関しては、保護者対応に苦慮する教育現場の実態を聞いている。学び、気

る」・・・92.6%(昨年度より13.6%増)

「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」・・・91.2%(昨年度より8.2%増)

「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」・・・88.3%(昨年度より6.3%増)

「いじめ問題について、保護者と連携をとりながら組織的に対応できる体制がある」・・・88.2%(昨年度より6.2%増)

「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」・・・85.3%(昨年度より0.7%減)

「生徒の生活指導について、学校の一貫した方針に従い、組織的に対応している」・・・82.3%(昨年度より7.3%増)

生徒指導部を中心として、泉ヶ丘駅での登校指導、通用門付近での登校指導と下校指導が毎日行われている。また、例年いじめ防止アンケートを実施し、悩みを抱えている生徒へのケアを行っている。2名のスクールカウンセラーによるケア体制が確立しており、不登校生徒に対しては引き続き支援を行う。

づきを促す保護者宛の情報発信は大事になると思う。

・公立と私学との違いもあるが、保護者の要望は高いであろう。(保護者アンケート結果を見ると)行事に対して評価が厳しい。コロナだからということもあるが、コロナの中で実施した行事もあったはず。公立では、批判のことは一切なかった。むしろ実施した行事について感謝の言葉が多かった。私学の評価は厳しいと感じた。

・働き方改革について、仕事は増えるが、減るところはないので、難しいところです。夜遅くまで対応を迫られる事案もある。コロナの関係で、朝の検温、消毒作業など、業務はどんどん増えています。

・PTA活動がほとんどできず、保護者間での交流も減っている。なんとか活動できる場面をつくりたい。

リモート授業については、保護者の知識の格差の影響が心配です。ICTに関しては、たいていは子どもの方が詳しいです。ミマモルメ、Classiなどの活用についても、アンケートで実態を確認したり、使い方講座を開いたり、保護者の実態に合わせたフォローが必要ではないかと思います。

・高校から併願で泉ヶ丘へ入学した知り合いの生徒がいた。失意のどん底であったが、その後は、会うたびに泉ヶ丘に来て良かったと言ってもらっている。教師の質が良いということが評価されていました。

コロナについて。去年は自分の子どもが受験生であったが、受験生に関しては、リモート授業などを活用して、自分のペースで効率よく勉強

	<p>はできていた。</p> <p>進路体験談のバックナンバーは、学校の宝。高3へ進級後にもらったが、もっと早い段階でもらえればよかった。学校の宝なので、ぜひ有効活用してほしいです。</p>
--	---

### 3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み	評価指標	評価	課題と改善策
教育力の強化	I 進路指導 ・生徒一人ひとりの進路実現 (現役国公立大学合格者数の増加)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常授業のさらなる充実</li> <li>・通常補習、夏期セミナー、冬期セミナー、2次直前対策講座の充実</li> </ul>	<p>「様々な進路希望に対応できるよう、教育課程(選択科目など)は適切に整備されている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率: 85%</p>	<p>【肯定率】 中 80.7% 高 87.6% (令和2年度は 中学 81.7% 高校 83.0%)</p>	<p>例年6月と11月の年2回実施の授業見学週間を継続。教科主任を中心として授業改善に取り組む。</p>
			<p>「学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率: 80%</p>	<p>【肯定率】 中 76.0% 高 75.3% (令和2年度は 中学 78.0% 高校 70.9%)</p>	<p>通常授業のほか、各学年が必要な放課後講座を準備する。</p>
			<p>「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率: 90%</p>	<p>【肯定率】 88.3% (令和2年度 82%)</p>	<p>高校3年生対象の夏期セミナーは5月下旬より周知していく。セミナー自体は7月下旬よりスタート予定。</p>
			<p>「補習や講習は統合的に整備され、多様な進路希望に対応できる体制になっている」(保護者アンケート)</p>	<p>【肯定率】 中 63.7% 高 72.6% (令和2年度は 中学 64.4%)</p>	<p>中学の進路情報提供に関する肯定率が依然として上昇していない。</p>

			ト) 目標肯定率：75%	高校 67.2%)	
2 学習指導 ・英語検定試験対策の実施	・オンライン英会話を積極的に導入し、聞く力・話す力の向上を目指す。	「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：90%	【肯定率】88.3% (2年度 82%) 昨年度より 6%以上上昇し、来年度は肯定率 90%を目指す。	オンライン英会話を引き続き実施。今後も継続して行う。	
・AL型授業の導入	・AL型授業を中学校を中心に実施する。	「教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：50%	【肯定率】33.8% (2年度 41%)	校外研修を受ける体制を整えるため、進路指導部や教科主任より教員研修の情報提供を実施し、積極的な参加を促す。	
・ICT機器の導入	・映像を取り入れた授業の実施。	「ICT機器を利用して授業を行っている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：95%	【肯定率】92.6% (2年度 77%) ICT機器の使用率は 90%を超えるほどの高い数値であった。	ICT機器はほとんどの教員が使用している状況である。	
3 生徒指導 ・基本的な生活習慣の確立	・きめ細やかな遅刻指導、マナー向上の呼びかけを実施	「学校は規則正しい生活習慣が身に付くように指導している」(保護者アンケート) 目標肯定率：90%	【肯定率】 中 88.5% 高 88.7% (2年度は 中学 91.5% 高校 83.5%)	中学校は 90%前後で高止まり、高校は年々肯定率が上昇し、90%に迫っている。	
・清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止	・生徒指導部教員を中心とした泉ヶ丘駅や校門付近でのバス乗車指導の実施	「登下校の安全や交通マナーに関する指導が十分になされている」(保護者アンケート) 目標肯定率：90%	【肯定率】 中 91.4% 高 89.2% (2年度は 中学 88.1% 高校 87.0%)	生徒指導部を中心に、バスや電車でのマナー、自転車の運転マナー向上を目指す。 登下校時のバス乗車指導は毎日確実に実施されており、今年度も継続する。	

	<p>・安心安全な学校生活の充実を図る</p>	<p>・定期テスト間に3回以上遅刻した生徒に対し、早朝登校指導を実施</p> <p>・月1回、アドバイザーを招いての教育相談ケーススタディ会議を実施。</p> <p>助言を受けて、不登校気味の生徒のケアを行う。</p>	<p>「学校は保護者の悩みや相談、問い合わせに丁寧に対応している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：85%</p> <p>「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p>	<p>【肯定率】 中 87.5% 高 84.8% (2年度は 中学 89.8% 高校 81.5%)</p> <p>中学は 90%に迫る数値で高止まり。高校も上昇が続いている。</p> <p>【肯定率】92.6% (2年度 88%)</p>	<p>例年通り、保健部主催のケーススタディ会議を月1回実施。</p> <p>各学年別に議題を決めて行っている。その会議では専属アドバイザーの助言を受けることができ、そのアドバイスを生徒への対応に役立てている。</p> <p>また、スクールカウンセラーに常駐してもらい、保護者、生徒からの相談をいつでも受けられる状況を継続する。</p> <p>「いごちアンケート」を5月中旬に実施し、悩みのある生徒への対応を行う。STANDBYを導入し5年が経過した。生徒が持っている悩みや疑問点を共有することができる機会を積極的に活用していく。</p>
	<p>・いじめの防止、携帯電話の使用方法について</p>	<p>・いじめ対策アンケートの実施</p>	<p>「学校は生徒からの悩みや相談に親身になって対応している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>【肯定率】 中 87.5% 高 84.8% (2年度は 中学 89.8% 高校 84.8%)</p>	<p>「いごちアンケート」を5月中旬に実施し、悩みのある生徒への対応を行う。STANDBYを導入し5年が経過した。生徒が持っている悩みや疑問点を共有することができる機会を積極的に活用していく。</p>

	<p>・いじめの防止</p>	<p>・人権道徳教育の実施</p>	<p>「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」 (自己評価アンケート) 目標肯定率：85%</p>	<p>【肯定率】91.2% (2年度 83%)</p>	<p>「いごこちアンケート」の結果を保健部、学年主任、担任教員で共有し、問題点があれば解決するよう努めていく。</p>
	<p>4 特別活動 ・自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実</p>	<p>・生徒会活動のより一層の活性化</p> <p>・課外クラブ活動への積極的な参加の呼びかけ</p>	<p>「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」(自己評価アンケート) 目標肯定率：90%</p> <p>「部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている」(保護者アンケート)目標肯定率:80%</p> <p>「部活動は活発に行われている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：80%</p>	<p>【肯定率】85.3% (2年度 78%)</p> <p>【肯定率】 中 76.2% 高 75.5% (元年度は 中学 78.6% 高 72.0%)</p> <p>【肯定率】82.3% (2年度 73%)</p> <p>【肯定率】77.9% (2年度 80%)</p>	<p>中高とも生徒会活動が活発になっている。中学校では毎週月曜日に全校朝礼を生徒会が主体となって実施している。また、月に1回専門委員会を開催し、進捗状況の確認を行っている。</p> <p>中学2年生を対象に、アフリカのマラウィで青年海外協力隊員として働いている方とのZoomによる講演会を実施し、好評であった。</p>
	<p>・キャリア教育の充実と大学見学の実施</p>	<p>・大学見学や卒業生によるキャリア教育講演会の実施</p>	<p>「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」 (自己評価アンケート) 目標肯定率：85%</p>	<p>【肯定率】77.9% (2年度 80%)</p>	<p>中学2年生を対象に、アフリカのマラウィで青年海外協力隊員として働いている方とのZoomによる講演会を実施し、好評であった。</p>

組織力の強化	組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年主任と中心として学年での報告連絡相談を徹底し、一貫した対応を行う</li> </ul>	<p>「教員はチームワークがとられており、一貫した対応が期待できる」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率： 中 85%、高 80%</p>	<p>【肯定率】 中 82.4% 高 76.3% (2年度は 中学 82.7% 高 70.9%) 中学の肯定率は 2年連続で 80%を超えることができた。高校も 5年連続上昇している。</p>	<p>2017 年度と比較し、中高とも約 30%上昇した。各教員が学年主任、教科主任、分掌部長への報告、連絡、相談を今後も継続していく。</p>
財務基盤力の強化	入学者の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの説明会を実施</li> </ul>	<p>「入学者を確保するための十分な募集広報活動を組織的に行っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：95%</p>	<p>【肯定率】95.5% (2年度 93%) 5年連続で 90%以上である。</p>	<p>今年度はオンラインでの学校説明会は減少し、実際に学校に足を運んでもらう従来の説明会が増えるものと予想される。</p>
	キャンパスの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機入替 27カ所</li> <li>・柔道場畳入替</li> <li>・45 教室のカーテン入替</li> <li>・通用門改修工事</li> <li>・手洗器 4カ所増設</li> </ul>	<p>「施設・設備は、よく整備されている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p>	<p>【肯定率】 中 86.9% 高 85.3% (2年度は 中学 85.4% 高 82.4%)</p>	<p>コロナ対策として、空調機を入れ替えた。また、手洗器の増設も行った。今後も必要に応じて、PTAの皆さまからの助けも借りながら、必要な設備を整えていく。</p>

※ 自己評価アンケート、保護者による学校評価アンケートは 1：達成できている 2：ほぼ達成できている 3：あまり達成できていない 4：まったく達成できていない の 4 段階に分けて回答。肯定率とは、全ての回答における 1 と 2 の回答の割合のこと。

肯定率 [%] = (1 と 2 の回答数 / 全回答数) × 100 で計算した。